

安倍首相主催の桜を見る会に招かれて、参加してきた。その参加報告である。

1 平成29年度総理主催の桜を見る会概要

安倍晋三首相主催の「桜を見る会」が、4月15日に東京・新宿御苑で開催され、(1月31日の政府発表では皇族や各国駐日大使、衆参両院議長をも招待)、国会議員、芸能人やスポーツ選手ら約16,500人が出席した。小生も家内共々招待され、春うららかなやや風強かったものの絶好の観桜会日和で楽しませて貰った。

0830 開場、9時過ぎに安倍首相臨場し、挨拶。挨拶に立った首相は、七分咲きの八重桜と第2次安倍政権発足から5年目になることをかけて、「風雪に耐えて5年の八重桜」と一句詠んだ。

NHK ニュースによれば、学校法人「森友学園」(大阪市)への国有地売却問題をめぐる国会審議を念頭においてか、「特に今年の前半は、本当に風雪に耐えているとの感を強くしている」とも述べた。また、働き方改革をはじめ、1億総活躍社会の実現に取り組む決意を改めて示した。首相は昭恵夫人とともに苑内を回り、出席者との握手や写真撮影に応じた。



2 安倍首相とハイタッチ

苑内の桜を愛で、無料の屋台等を回り、途中で大臣や国会議員の先生方や評論家と家内のツーショット、偶々桜を見ていた際に、この付近は首相の退場通路であり、絶好の撮影ポイントであることを知り、待ち構えていた。SPからハイタッチが出来ますとのことで、期待に胸膨らませて待っていたところ、待つともなく見えて、ハイタッチした。柔らかい手で温かい感触でした。隣の美人女性の顔は消去させて貰いました。

明恵夫人(右写真黄色い服)もお見えでしたが、ハイタッチまでは出来ませんでした。

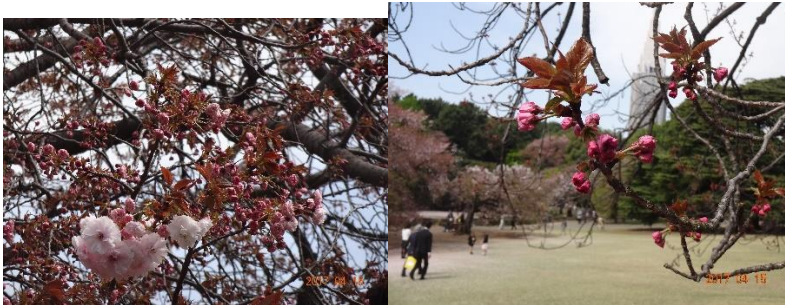




若い芸能人は全く知りませんが、僕らの年代では写真の歌手五木ひろしさんでしょうか。

3 桜の開花状況等

会場周辺の桜の状況は写真の通りであり、満開もあれば、1，2分咲き程度もあるという状況。これから楽しめるだろう。我等が帰る頃は、新宿門には長蛇の列が見られ、天候も良しで、人出が多かった。



4 二回目の桜を見る会参加

前回は、平成15年4月の見る会参加で、時の首相は小泉氏であった。家内は写真を撮ったようだが、制服を纏った身では謹厳そのものの姿勢であった。今回は気楽なもので、ミーハー的な行為も然程気にならなかった。俱知安次代の町議会議長や同期にも会うのだから奇遇ですね。

